

観光地なのにホテル客室数は全国最下位クラス。創業150年の老舗旅館の再出発 “泊まらない”都市 奈良に伝統と歴史を紡ぐ 新しい地域密着型コミュニティホテル「セトレならまち」誕生 ～ 300年ぶりの興福寺・中金堂再建に合わせ五重塔を望む猿沢池目の前に11/1(木)開業～

関西を中心に地域密着型コミュニティホテルを展開する株式会社ホロニック（本社：神戸市東灘区向洋町中6-9、代表取締役社長：長田 一郎）は2018年11月1日（木）、興福寺・中金堂の約300年ぶりの再建に合わせ新ホテル「セトレならまち」（所在地：奈良市高畑町1118、支配人：岸本 舞）を開業いたします。

■目の前は五重塔！建築材、造り、家具、食材まで全て地元こだわったオール奈良のホテル

「セトレならまち」は、奈良のランドマークである興福寺五重塔を望む猿沢池の畔に位置します。明治元年より創業150年の歴史を誇る老舗旅館「吉田屋旅館」（本社：奈良市高畑町246/代表取締役：吉田 和隆）の別館「ホテル大和路」の跡地に建設を行い、「ホテルセトレ」ブランドの5つ目として当社（株式会社ホロニック）が運営を行います。これまでの歴史や文化、伝統を重んじつつ、「奈良を紐解き、奈良を創るホテル～これまでの歴史がこれからの100年に～」をコンセプトに、さらにこれからの100年を見据えた“不易流行のホテル”を目指します。

建築は、早稲田大学卒業後に安藤忠雄建築研究所を経て独立し、現在は建築家としての設計のほか、滋賀県立大学で教授も務める芦澤竜一氏がデザインを手掛けます。地元の材木や土、石などを用い、奈良で培われた技術や構法を伝承する建築を目指した設計を進めております。共有スペースや客室の家具は国産家具メーカーの株式会社ワイス・ワイスと奈良県とコラボレートし、奥大和地域で植林したスギやヒノキを使用します。レストラン「DINNING IN THE NARAMACHI」では、大和野菜や大和牛などの地域の食材を生かし、ジャンルにとらわれない創作料理をコーススタイルで提供いたします。

■“泊まらない”都市から”わざわざ泊まる”都市へ。27歳女性支配人が目指す改革

数々の観光名所があるにもかかわらず、観光地の密集、名産品やお店の少なさ、などから奈良県は観光客の滞在時間が短く、建造物の高さ制限、遺跡出土で建設が進まないことに加え、京都や大阪に宿泊客を持って行かれるなどの要因からホテル客室数は全国最下位クラスで「泊まらない都市」と言われています。さらに近年は観光客が団体から個人へと変化していることから、これまでの修学旅行客などの団体主軸の経営スタイルの見直しが必要です。ホテル建設ラッシュが進む中、当社は27歳女性支配人岸本舞を筆頭に、団体客向けの老舗旅館から、個人が「わざわざ泊まるホテル」への改革を目指します。



【セトレグループについて】

株式会社ホロニックが運営する地域住民・地域社会のためのコミュニティホテル「SETRE(セトレ)」。「RESET+REVIVE」をコンセプトに、時代の文化の中で見失われてきた数々の宝物、地域に眠る「物語」を新たな「価値」に変えてお客様に届け、人と人、人と地域の絆を結ぶ「コミュニティホテル」を目指す。2005年神戸市垂水区に1号店「ホテルセトレ」をオープン。08年には国民年金宿舎をリノベーションし、2号店となる「セトレ ハイランドヴィラ姫路」を兵庫県姫路市にオープン。13年にはセトレグループ初となる新築で「セトレ マリーナびわ湖」を滋賀県守山市にオープン。15年には、九州初出店となる「セトレグラバーズハウス長崎」を長崎県長崎市にオープン。現在はホテル4施設の経営及び運営を実施。

ぜひ貴社媒体でのご取材いただけますよう、よろしくごお願い申し上げます。内覧会は10月下旬に予定しております。詳細は9月配信予定のプレスリリースでお知らせいたします。ご不明な点などございましたら、下記までご連絡下さいませ。

●取材に関するお問い合わせ先

セトレならまち 広報事務局 担当＝後藤、八尾
電話:06-4708-3766 E-mail pr@raple.co.jp

施設概要

所在地：奈良市高畑町 1118 (近鉄奈良駅より徒歩7分)

総敷地面積：1,210.35 m²

ホテル延床面積：1992.97 m²

開業時期：2018年11月1日

施設：客室32室、レストラン、ラウンジ、ライブラリー、匠室(マイスタールーム)、中庭テラス、屋上テラス等



エントランスロビー

正面の通りから中庭を見渡することができる開放的な空間。ロビーでは地元客も利用できるイベントやアクティビティを開催いたします。



掘りごたつカウンター

レストランとは一線を画した上質な空間を演出します。目の前で腕をふるうシェフとの会話を楽しみながら料理をお楽しみいただけます。



客室(2~4階)

全32室を用意いたします。猿沢池側を見渡す部屋、中庭を眺める部屋をはじめ、奈良の町屋をイメージした部屋やコンセプトルームも計画しています。



匠室

奈良の伝統産業や地場産業の職人、アーティストの技術や生き様を体感するための部屋です。職人との交流や工房のフィールドワークなども行います。



レストラン

中庭を眺める席、料理人のパフォーマンスが楽しめるカウンター席、個室の3タイプを設けます。料理はジャンルにとらわれず、生産者と連携しながら地域食材をその時一番美味しい調理法で提供いたします。



中庭テラス

ホテルの中に季節の彩りや奈良らしさを感じられる中庭を作ります。シンボルツリーには枝垂桜、自家菜園用の畑も設け安心・安全のお野菜を作っていく予定です。



ライブラリー

猿沢池を眺めながらの読書や語らいの時間を過ごすことができます。レコードやコーヒーもご用意しております。



宇宙テラス

昼は五重塔や若草山の大自然を眺められ、夜は星空を見上げくつろぐことができるテラスです。

●取材に関するお問い合わせ先

セトレならまち 広報事務局 担当=後藤、八尾

電話:06-4708-3766 E-mail pr@raple.co.jp